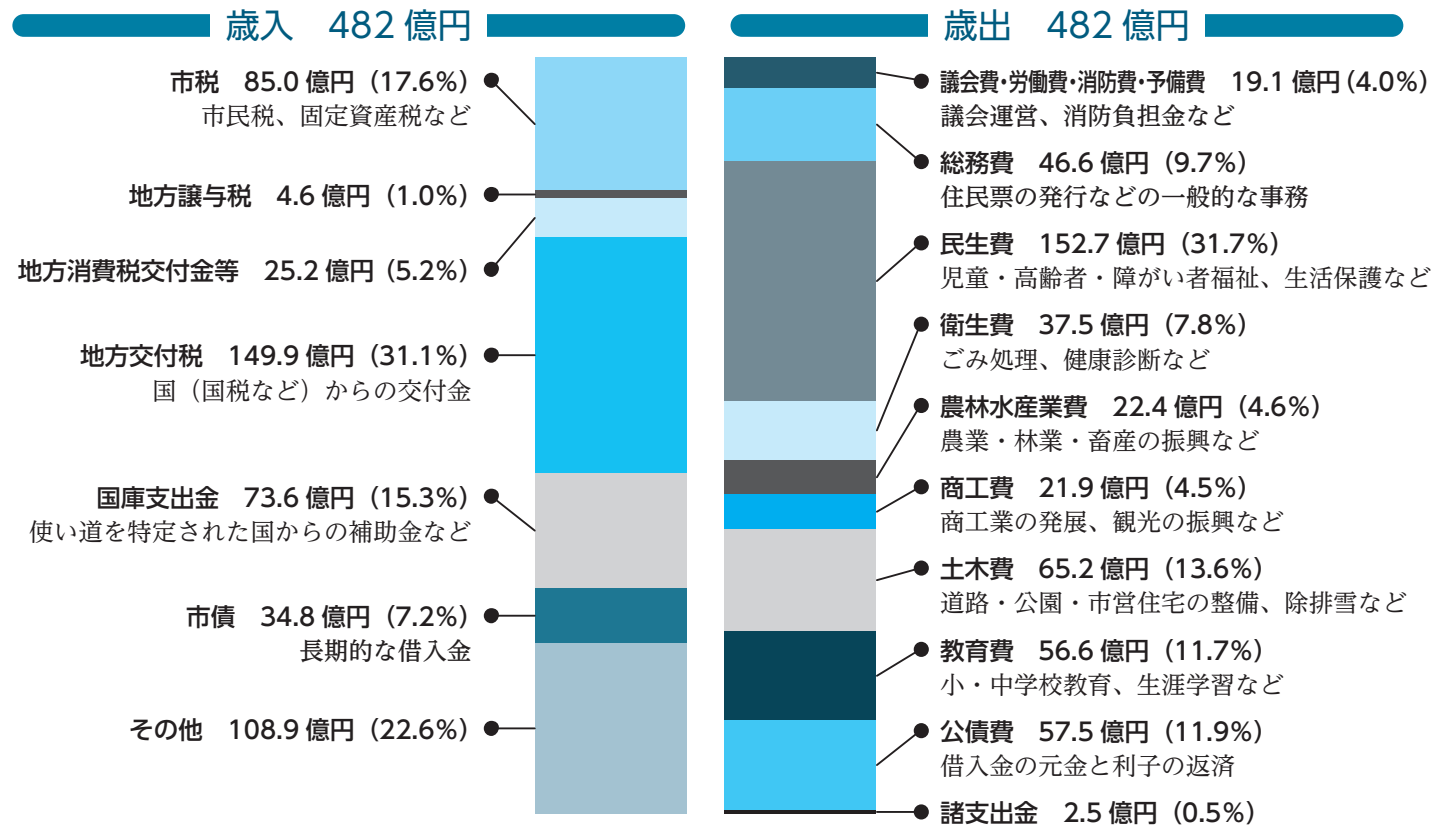


一般会計予算の概要



POINT 子育て支援体制の強化

市の子育て支援の取り組み

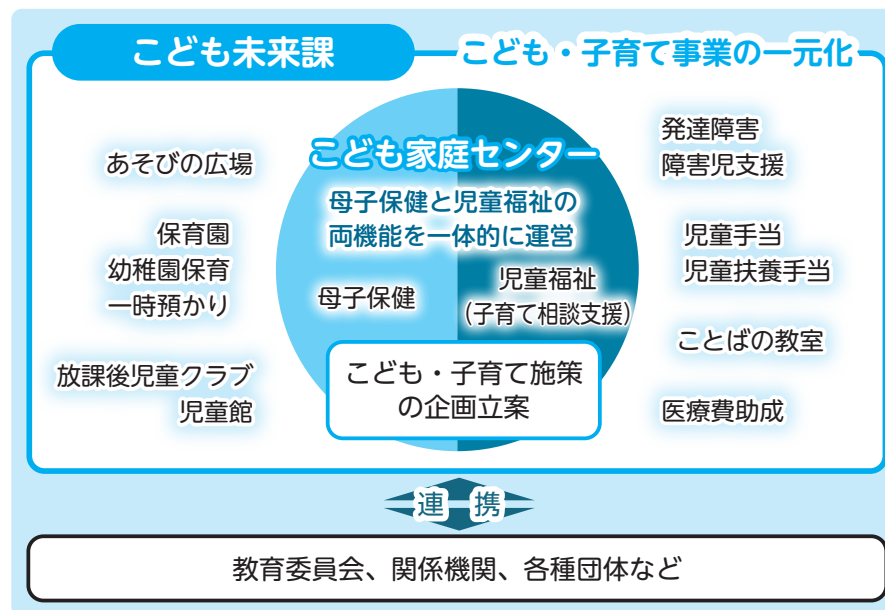
他の自治体に先駆けて、こども・子育てひろば「えみふる」を中心とした支援体制を構築し、課題を抱えている家庭の把握や相談支援のほか、総合計画や総合戦略の重点施策として位置付け、ライフステージごとに切れ目のないさまざまな支援を展開してきました。

子育て支援体制はネクストステージへ

こども・子育て部門の中核を担う「こども未来課」を健康福祉部内に設置し、複数の組織に分かれていた事業を一元化するとともに、こども未来課内に、母子保健と児童福祉の一体的な運営とこども・子育て施策の企画立案を行う「こども家庭センター」を設置し、相談・支援体制の強化（深化）、サービスの質・量の拡充、教育委員会や関係機関・団体と連携を図り「日本でいちばん子育てにやさしいまち」に向けた取り組みをさらに進めます。

注目！

北海道大学 COI との連携により、低出生体重児の減少を実現（2015年10.4%→2019年6.3%）



「日本でいちばん子育てにやさしいまち」を目指して

- 一元化でさらに利用しやすい組織
- よりきめ細かなサービス提供
- 関係機関や団体などとの連携強化
- DX化など、サービスの拡充
- 積極的な情報発信

組織の変更に関しては、6・7ページをご覧ください

令和6年度 市政方針と予算

予算総額	914 億 800 万円
一般会計	482 億円
特別会計	201 億 1,500 万円
企業会計	230 億 9,300 万円

新たな時代へのスタート

2月26日から市議会第1回定例会が開かれ、松野市長が令和6年度の市政運営の基本姿勢となる市政方針を示しました。

その市政方針と令和6年度予算の概要、総合計画に掲げた6つの重点分野を紹介します。
問合先 企画室 ☎ 35-4834

子育てにやさしいまちに

昨年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後、国内経済の回復基調が続いている一方で、全国的に進行する少子高齢化や人口減少に加え、都市と地方との人口の偏在、多様な働き方とライフスタイルの変容、大規模な自然災害の多発などにより、価値観の変化や社会の「転換期」を迎えています。

岩見沢市では、第1期および第2期総合戦略に掲げた施策・事業の着実な推進により、年少人口の転入増や社会動態の改善傾向が見られており、新たに策定する「第3期総合戦略」に基づき、引き続き、時代の変化などにしなやかに対応しながら、持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みを進めます。

特に、未来を担うこどもや子育て世代への支援については、これまで総合計画や総合戦略の重点施策として位置付け、他の自治体に先駆けて、こども・子育てひろば「えみふる」を中心にさまざまな事業を展開しており、北海道大学 COI との取り組みでは低出生体重児の出生率低下などの成果も表れ、国内外からも高い評価を受けるなど、生まれる前から切れ目なく、こどもが健やかに成長し、安心して子育てができる環境づくりに努めてきました。

こうした取り組みは、当市の「優位性」強みの一つでもあり、更に深化させ、子育て世代へアプローチしていくことで、現役世代の活力を生み出し、まち全体の活力創出につなげていく必要があります。

新年度においては、こども・子育て支援体

市政のさらなる飛躍へ

私は市長に就任して以来、市政運営の基本は「市民の皆さまとの信頼」と申し上げてきました。これからは徹底した現場主義の下、市民本位の市政、開かれた市政の実現に努めます。

市政を取り巻く環境が厳しさを増す中、持続的な発展と継続のためには、徹底した事業の選択と集中、未来技術の積極的な活用と経営資源配分の最適化を進めていく必要があります。

加えて、職員一人一人が「岩見沢のまち」のために働いているという基本を改めて自覚し、資質・能力を含めた総合的な職員力を高めていくことが大切であり、そのためにも、私自身が先頭に立って市政のさらなる飛躍を目指し、引き続き市役所改革に取り組めます。

制のネクストステージとして、関連する業務の集約化と効率化を図る組織の再編を行い「子育てにやさしいまち」に向けた取り組みを更に進めます。

また、当市は昨年、開庁140年・市制施行80周年を迎え、新年度は、新たな時代へのスタートとなります。

これまで積み重ねてきた取り組みとその成果を基礎として、未来のあるべき姿を見据えながら、山積する当面の課題にもしっかりと取り組み、挑戦する姿勢を常に忘れず「オール岩見沢」「チーム岩見沢」で新しい時代への歩みを進めます。

重点分野の取り組みの一部を紹介します

防災・防犯・地域コミュニティ

地域で支え合う安全・安心なまち

災害に備えた対策

防災対策事業 3,312 万円

防災訓練や出前講座、自主防災組織への支援を通して地域防災による防災・減災を推進するほか、災害時における速やかな情報発信を行い、避難所生活や被災者の速やかな生活再建に向けた取り組みを進めます。



冬の暮らしの安全・安心の確保

除排雪事業、高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業
17 億 3,000 万円

迅速かつ機動的な道路除排雪に加え、町会・自治会などが行う地域自主排雪への支援、高齢者世帯などの雪下ろしや間口除雪、定期排雪の費用の助成など、冬の暮らしの安全・安心の確保を図ります。



健康・福祉・医療

みんなが健康で元気に暮らせるまち

いつまでも健康に暮らせるように

健康寿命延伸事業 7,533 万円

個人の健康づくりの活動にポイントを付与する「健康ポイントアプリ」の活用のほか、各種健康診査や健康教室、健康相談などを実施し、いつまでも健康で生きがいを持って暮らせるよう健康寿命の延伸に取り組めます。



拡充

障がいへの理解促進と差別の解消へ

共生のまちづくり推進事業 1 億 5,832 万円

バリアフリーの推進やアール・ブリュット作品の鑑賞機会の提供などを通じ、障がいのある方が社会参加しやすい環境の整備と障がいへの理解促進、差別の解消などを図ります。



産業経済・交流

活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち

産学官連携などによる人材育成と市民中心の社会創出

地域イノベーション推進事業 1,200 万円

北海道大学 COI-NEXT をはじめとする関係団体との産学官連携の下「地産地消・自立型エネルギーシステム」を活用した実証による地域 GX 実現に向けた産業への活用を促進するとともに、デジタル技術を理解して活用できる人を増やすため、デジタル人材の育成に取り組めます。



こども・子育ての情報を発信

シティプロモーション推進事業 151 万円

こども・子育てポータルサイトやすこやか健康手帳アプリ、SNS など効果を効果的に活用し、こども・子育て支援をはじめとする特色ある施策などを中心に、岩見沢市が持つさまざまな魅力を市内外に発信します。



子ども・子育て・教育・文化

豊かな心と生きる力をはぐくむまち

子育てしやすいまちづくりの推進

拡充・新規

こども家庭センター事業、子どもの医療助成事業

2 億 8,036 万円

子育て世代包括支援センター（母子保健）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）の両機能の一体的な運営と関連事業を集約し、妊産婦やこども、子育て世帯への相談・支援体制の充実を図るほか、子どもの医療費助成対象要件の緩和（所得制限の撤廃）により、子育てに関する経済的負担の軽減に取り組めます。

安心して学べる教育環境の確保

新規

学校教育施設空調設備整備事業、緑陵高等学校空調設備整備事業

10 億 5,678 万円

夏季の猛暑により児童・生徒が熱中症などの重大な健康被害に陥ることを防止し、快適で安全・安心な学習環境を確保するため、市内の小・中学校、緑陵高等学校の普通教室などに空調設備（エアコン）を整備します。



都市基盤・環境

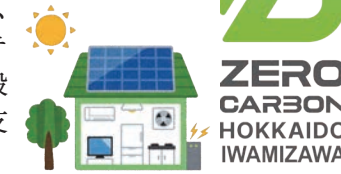
自然と調和した快適で暮らしやすいまち

カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

拡充・変更

脱炭素・環境対策事業 4,656 万円

2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、公共施設の脱炭素化を図るとともに、家庭における太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー設備の導入や省エネルギー化を支援します。



安全で安心して楽しめる公園づくり

公園造成事業 1 億 64 万円

いわみざわ公園と利根別自然公園を結ぶ散策路の整備のほか、計画的に公園の施設を更新するなど、こどもから高齢者まで集い、楽しめる公園づくりを進めます。



市民参画・行財政運営

市民とともに創る持続可能で自立したまち

タイムリーで効果的な情報発信

広報活動事業 7,276 万円

広報いわみざわや地デジ広報、デジタルサイネージ、コミュニティ FM、街頭放送、ホームページ、SNS など、発信する情報に適した手段で、効果的に情報を届けます。



効率的・効果的な行政サービスの提供

拡充

窓口スマート化推進事業、スマート・デジタル自治体推進事業
9,360 万円

「書かない窓口」の拡充やキャッシュレス決済の活用、オンライン申請の導入など、行政手続きや窓口業務のスマート化による市民サービスの質の向上とともに、業務システムの標準化への対応やペーパーレス化など業務環境の改善・効率化を推進します。



市は、人と緑とまちがつながり、ともに育み未来をつくる健康経営都市の実現に向けて、重点分野として定めた6項目を柱に、総合計画や総合戦略などに基づく施策を着実に推進し、持続可能で自立した地域経営の確立を目指した取り組みを進めます。

詳しい内容は市ホームページ、市議会公式 YouTube をご覧ください

市議会の様子



YouTube で

市政方針



ID:3439

重点分野の取り組み



ID:3434

市ホームページで

ますが、持続可能で自立した行財政基盤の確立に十分留意するとともに、重点的に取り組む分野をはじめ、必要な施策全般にバランス良く予算を配分しました。

令和6年度の予算は、選択と集中の視点に立ち、事業目的別予算編成の手法により、必要な事業の新設、既存事業の再構築を行い、事業間の相乗効果による好循環の拡大を図るとともに、こども・子育て支援をはじめとした、未来への投資となる事業に重点的に配分しました。

その結果、一般会計の総額は482億円、前年度比3.4%の増、特別会計と企業会計を合わせた全会計の総額は914億800万円、前年度比2.6%の増となりました。

厳しい財政環境の中、財政調整基金から10億8千万円を繰り入れ

用語解説

❖アール・ブリュット

美術教育を受けていない人などが、既成の表現方法にとらわれず自由に制作した生の芸術作品

❖カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること

❖スマート化

情報システムや各種装置に高度な情報処理能力や管理・制御能力を持たせること